



佐藤忠暉議員

合併問題

町民の幸せは合併にあるのでは

当面自立の方針で進めていく

質問 初当選以来、今日まで12年間議員活動の中で、これまで毎年必ずのように質問に出たのが次の3点であった。

- (1) 町立図書館建設について
- (2) 郷土資料館建設について
- (3) 学校給食の実施についてである。

町民はこれまで執行部から自信ある説明、雄弁詭弁を聞かされてきても、少しも幸せにつながらないことに気が付いたのではないかと。そこで、町民の幸せを一日でも早くかなえるために

は、宮古市との合併にあるのではないかと。今その時機にきていると思うがどうか。

沼崎町長 市町村合併については、合併特例法「旧法」下において議論を重ね、本町は当面自立との方針を前提として、第8次山田町総合発展計画を策定した。本年度は計画2年目の町づくりを進めているところである。現時点でこの方針を見直さなければならぬような大きな状況の変化はないと考える。

教育行政

小学校の統廃合を考えては

避けて通れない状況にある

質問 平成18年の出生数は131人であるというが、このような状況において、はたして小学校が9校必要なのか？と考える。

このことについて、平成14年12月定例会で取り上げたが、その時は、現段階では統廃合は考えていないと

いう答弁であった。

現在の少人数過ぎる学級が、はたして児童生徒のためになつているのであるか。ある程度の人数がいて人間関係が上手く回転すると思うが、統廃合を検討しては。

松尾教育長 平成14年12月

町の考えを聞く



山田北小学校の授業の様子

定例会から5年が経過し、少子高齢化の波は確実に進んでおり、その後も減少傾向である。また、複式学級を有する学校が増えることなどから、小学校の統廃合については、避けて通れない状況にあり、その方向で検討しなければならぬと考えている。